

評価事項5. モニタリング（追跡）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1. 見守り体制作り	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 環境の見守り	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 計画の見直し	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 日常的な連携協力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. モニタリングの方法	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.見守り体制作り 見守りの役割分担、連絡ルート、危機介入の想定、緊急会議などの項目
- 2.環境の見守り 資源への介入、一貫性・継続性、開発・教育・情報提供などの項目
- 3.計画の見直し 現場の情報収集、プランの調整・修正、期限の設定、定例会議などの項目
- 4.日常的な連携協力 情報交換、情緒的交流、役割調整などの項目
- 5.モニタリングの方法 [利用者本人・家族・専門家]×[定量・定性]=計6種という項目

評価事項6. エバリュエーション（評価）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1. 計画実行の評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 目標達成度の評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 生活変化の評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 利用者・家族の満足度評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 地域資源の変化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 評価会議の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 各種評価尺度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 費用対効果の考え方	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.計画実行度の評価 計画は予定通り実行されたか?という項目
- 2.目標達成度の評価 当初の目的は達成されたか?という項目
- 3.生活変化の評価 利用者の生活は変化したか?という項目
- 4.利用者・家族の満足度評価 支援活動に利用者とその家族は満足したか?という項目
- 5.地域資源の変化 この活動の前後で地域資源は変化したか?という項目
- 6.評価会議の開催 支援期間終了の直前にあらかじめ設定しておくという項目
- 7.各種評価尺度 症状評価、社会機能評価、QOL 評価、家族評価などの項目
- 8.費用対効果の考え方 効率と効用、費用とは何か?などの項目

評価事項 7. ターミネーション (終結)

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか?					どの程度実行していますか?				
1. 新たなニーズの発見	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 継続支援機関への連結	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. アフターケア体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

— 言葉の説明・内容 —

- 1.新たなニーズの発見 新たなケアマネジメントサイクル、再査定と再契約などの項目
- 2.継続支援機関への連結 情報の要約、フェイドアウトなどの項目
- 3.アフターケア体制 連絡先・再開可能性の説明、危機介入の手順などの項目

評価事項 8. 関連技術

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

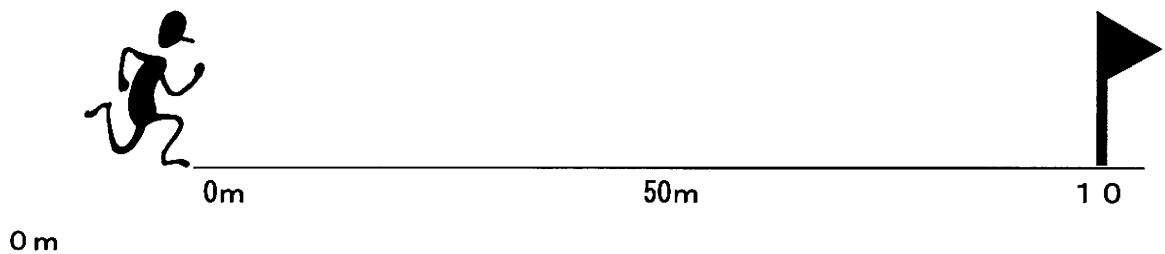
	どの程度理解していますか?					どの程度実行していますか?				
1. 記録方法	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. チームワーク	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. カンファレンス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. スーパービジョン	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. ストレス対処法	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

— 言葉の説明・内容 —

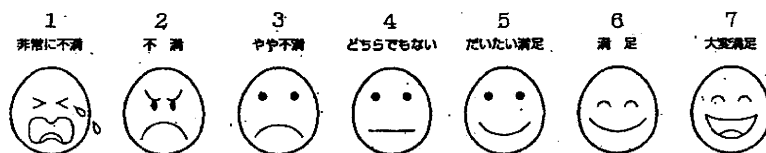
- 1.記録方法 一次記録（カルテ、SOAP など）、二次記録（専門職のまとめ）、三次記録などの項目
- 2.チームワーク 各職種・各機関の能力と限界を知る、推論する、討論する、連携方法などの項目
- 3.カンファレンス 計画、設定、運営、司会、板書、記録、定例化などの項目
- 4.スーパービジョン 同職種もしくは異職種、定期的もしくは不定期、職場内外、メディア利用、研究会などの項目
- 5.ストレス対処法 体調管理、対人距離、問題解決法、ストレス発散などの項目

現在時刻： _____ 時 _____ 分

Ⅱ. 該当する相談支援専門員の方は、相談支援専門員として、どのレベルまで到達していますか？最終目標が100mの地点だと仮定して、現在いると思われる場所に、▼印をつけて下さい。



Ⅲ. 該当する方の、相談支援専門員としての現在の業務に、あなたはどの程度満足していますか？（○で囲んでください）



御協力ありがとうございました。質問は以上で終わりです。

現在時刻： _____ 時 _____ 分

調査およびアンケートに関するご意見

質問の量について

回答にかかった時間について

質問の内容について（具体的にお書き下さい）

提出期限について

障害者ご本人からの意見や感想などで気づいたこと

調査全体について

その他

表 5

平成 22 年度厚生労働科学研究費

障がい者相談支援に関する
アンケート

試行調査実施へのご協力をお願い

同意書

アンケート用紙

(ご本人用)

『障害者の相談支援にかかる人材養成に関する研究』

試行調査実施へのご協力のおねがい

現在、国では障害をもっている方への支援(応援)を、効果的に進めるために、相談支援という方法を広めていくことを考えています。

そこでわたしたちは、現在行われている相談支援が、みなさんが快適な生活を送ることに、どのくらい役に立っているか、またどのようなことを良くすればよいかを明らかにするために、2011年に相談支援を利用する人々を対象に、アンケート調査などを行います。

その調査がきちんと行われるように、今回みなさんに協力していただき、試行調査(試しの調査)を行いたいと考えています。ぜひご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

《試行調査について》

参加していただく人

- ・ 現在、障害者相談支援を利用している人

どのようなアンケートか

- ・ あなた自身についてのこと
- ・ あなたが受けている相談支援のサービスについて・・・9項目
- ・ あなたの現在の暮らしの満足感について・・・1項目

5分～10分くらいで終わります。

また、協力可能な人には、あなたにサービスを提供している相談支援専門員がどんな方かを5分程度聞かせていただきます。お話ししていただいたことは、これまで担当してきた相談支援専門員の方に知られることはありませんので、安心して本当のことをお話ください。

《プライバシーの保護について》

あなたのアンケートの回答については、プライバシーの保護に十分に注意して

大切に保管し、調査がおわったら破棄(すてること)します。あなたのお名前などのプライバシーが、この調査に関わっていない他の人に知られることはありません。また、あなたのアンケートの回答などは、この調査のためだけに使われます。

《調査結果の公表について》

調査の結果などは報告書や論文などで公表する(他の人たちに知らせる)ことができますが、そのときも、あなたの個人的な事柄(お名前や住所、年齢など)を知らせることはありません。

《調査への参加・不参加と不利益について》

アンケートやインタビューには、ぜったいに参加をしなければならないわけではありません。また、途中で参加をとりけすこともできます。参加しなくても、また途中で参加をとりけしても、なにも問題はありませんし、嫌な思いをすることもありません。しかし、大切な調査なので、できるかぎり協力をお願いします。

調査に協力いただけた場合は、2000円のクオカード(コンビニエンス・ストアなどで使えるお金の替わりになるもの)を差し上げています。

以上のことについて理解したうえで、「アンケート(試行調査)に参加してもよい」と思われましたら、次のページの用紙に今日の日付とお名前を記入して、アンケート(試行調査)にご協力ください。

厚生労働科学研究補助金・障害保健福祉総合研究事業

『障害者の相談支援にかかる人材養成に関する研究』

主任研究者 野中 猛 (日本福祉大学)

分担研究者 西尾雅明(東北福祉大学)

ご質問や、わからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。

連絡先: 東北福祉大学 総合福祉学部 西尾研究室

TEL/FAX :022-301-1120

しこうちょうさ きにゆう きょうりよく どういしょ
試行調査(アンケート記入)への協力の同意書

にほんふくしだいがく
日本福祉大学

のなか たけし どの
野中 猛 殿

とうほくふくしだいがく
東北福祉大学

にしおまさあき どの
西尾雅明 殿

こんかい しこうちょうさ もくてき ないよう せつめい う じゅうぶん
わたしは今回の試行調査の目的や内容について説明を受け、十分に

りかい しこうちょうさ さんか どうい
理解しましたので、試行調査への参加に同意いたします。

きょう ひづけ
今日の日付 _____

なまえ
名前 _____

せつめい
説明したスタッフ _____

日付 _____

ひつよう おう わす きにゆう
次のページも必要に応じて忘れずに記入してください。

「同意書」に記名されなかった理由
(同意書に記名されなかった方についてのみ)

「同意書」に記名されなかった理由を次の中から選び、当てはまる項目全てに○をつけて下さい。

1. 調査（アンケート）自体が、よくわからないから
2. どういうものかはわかったが、答えるのが面倒あるいは時間が無い
3. アンケートの質問がわかりにくい、または読みにくい
4. この調査（アンケート）の目的に、賛成できない
5. 他の人に自分の秘密を知られてしまうのではないかと心配だから

その他 _____

表 6

しょう しゃ
障がい者ケアマネジメント
ご本人用アンケート

次ページからの質問をよんで、それぞれの回答のうち最もよくあてはまる
番号をおし教えてください。もし現在のお考えにぴったりした回答がないとき
でも、できるだけ近い項目を選んでください。

回答したアンケートは、あらかじめお渡ししている大きめの封筒に入れて
封をして、アンケートを集める担当の人に渡してください。

A. あなたが受けたプログラムの質はどの程度でしたか。

- 1) 大変よい 2) よい 3) まあまあ 4) よくない

B. あなたが望んでいたプログラムは受けられましたか。

- 1) まったく受けなかった 2) そうでもなかった 3) だいたい受けた 4) 十分に受けた

C. このプログラムは、どの程度あなたが必要としたものでしたか。

- 1) ほぼすべて必要としたもの 2) だいたい必要としたもの 3) いくらかは必要としたもの 4) まったく必要としたものではなかった

D. もし知人が同じ援助を必要としていたら、このプログラムを推薦しますか。

- 1) 絶対にしない 2) しないと思う 3) すると思う 4) 絶対する

E. 受けた援助の量に満足していますか。

- 1) とても不満 2) どちらでもないか 3) ほぼ満足 4) とても満足
すこ 不満

F. 受けたプログラムは、あなたが自分の問題によりよく対処するのに役立ちましたか。

- 1) 大いに役立った 2) まあまあ役立った 3) まったく役立たなかった 4) 悪影響を及ぼした

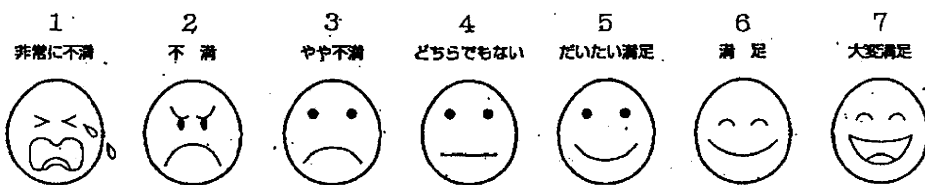
G. 全体として一般的にいて、あなたが受けたプログラムに満足していますか。

- 1) とても満足 2) だいたい満足 3) どちらでもないか 4) とても不満
すこ 不満

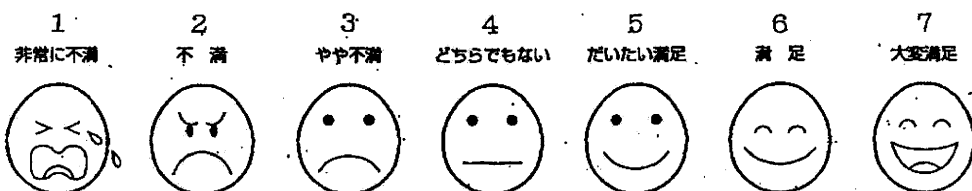
H. また援助が必要となったとき、このプログラムをもう一度受けたしたいと思いますか。

- 1) 絶対受けない 2) 受けないと思う 3) 受けると思う 4) 絶対受ける

2. あなたが受けている相談支援サービスについて、全体としてどのように感じていますか？



3. あなたは、現在の暮らしについて、どのように感じていますか？



ご協力ありがとうございました。質問は以上で終わりです。

回答にかかった時間： _____ 分間

どなたが実際にアンケートにご記入されましたか？

1.	利用者本人のみ
2.	利用者本人と従事者
3.	利用者本人と家族
4.	利用者本人と家族と従事者
5.	従事者のみ
6.	家族のみ
7.	その他 _____

調査およびアンケートに関するご意見

試行調査へのご協力、ありがとうございました。今回の試行調査で何か気づいた点がございましたら、ご記入ください。

厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）
障害者の相談支援にかかる人材養成に関する研究
平成22年度 総括研究報告書

発行日：2011年3月

発行者：研究代表者 野中 猛
事務局 寺澤 法弘

印刷所：株式会社一誠社

